

障害福祉

問 視覚に障害のある方への生活対応は

答 困りごとには相談員が応じる体制



すずき としかつ
鈴木 利一 議員



質問者の録画映像
はこちらから

鈴木 視覚に障害のある人の人数と生活の現状は。

保健福祉課長 37名の方が障害者手帳を取得している。また大半の方が、介護保険サービスや支援用具等を活用して、自宅で生活している。

鈴木 要望などをどのよう
にして、把握しているのか。

保健福祉課長 町内3ヶ所の相談支援事業所と、基幹相談支援センターに業務を委託し、障がい者の方の困りごと等について、相談支援にに応じている。町は相談員と定期的に情報交換を行い、課題の

把握に努めている。

鈴木 健康な人たちには、サロン事業で集まる場が確保されているが、障がい者同士の意見交換をするような機会が必要だ。

保健福祉課長 障がい者同士の話がで
きるような、交流の機会を設けたい。

町営バスの役場発着は

鈴木 三春町地域公共交通計画が策定され、町営バスについては、抜本的な見直しが必要だとしている。発着を役場としたコースに変更しては。



スマートフォンアプリで紙面を読上げ

住民課長 役場周辺ではバス待機のスペース確保が困難である。また三春駅は、二次交通としての重要な役割がある。駅を起点とし、町内や三春病院経由のコースへ、見直しを進める。

鈴木 他の市町村では、AIを利用したデ

マンド交通の実証実験を開始している。早急な取組みが必要だ。

住民課長 町営バスは、来年度の早い時期に、デマンド交通の導入を、検討している。